

こんにちは。

年の瀬を迎えると、毎年「流行語大賞」とか「今年の漢字」とかが発表されますが、ちなみに今年の漢字は「税」が選ばれました。税金の話が事欠かなかった一年ということでしょうが、自民党安倍派などにおけるパーティー券の裏金化については、脱税も疑われ、今後の政治情勢は予断を許さない状況になっています。法律というのは国会議員が作っているわけですが、自分たちに都合の良いように作り、そしてそれさえも守らないという道徳心の欠片もない政治家がたくさんいることが分かります。それを選んでいるのは私たち国民ですから、選挙における一票を大切にしなければなりません。

通信会社のニフティが「小中高生が選ぶ今年の漢字」というのを募集していて、2023年は3位が「恋」、2位は「推」、そして1位は「楽」となったそうです。コロナで我慢を強いられることが多かった3年間を経て、ようやく日常が取り戻せて楽しいことができるようになったということでしょうか。

楽しいことと言えば、先日、私たち教職員も4年ぶりに忘年会を開催しました。全国的にはコロナ前から忘年会離れが広がっていたのだそうですが、コロナによって改めてコミュニケーションの大切さに気付き、参加者が増えているという報道を目にしました。高校生の皆さんは忘年会というのはなかなか想像がつかないと思いますが、「アルコールの入ったお楽しみ会」みたいなものだと思います。

それで、今年は「2023城北王は誰だ?!」と題して、Kahoot!というアプリを使ってクイズ大会をやりました。問題の一つに「今年、本校で使用したトイレットペーパーの長さの合計は地球を一周以上する。」は○か×かというのがあったのですが、○だと思える人は手を挙げてみてください。答えは×です。

女子だけでざっと計算してみると、トイレット一回につき1m使うとして、一日3回で3m、月に20日登校するとして60m、1年だと720mになります。女子生徒は凡そ600名いますから720m×600人=432,000mで、単位をkmに直すと432kmとなり、男子の分を入れてもせいぜい500~600kmですので、地球一周4万kmには到底届きません。ちなみに発注したトイレットペーパーの数から正確に距離を積算したところ約640kmで、山形からだと岡山県くらいまでになります。

「楽」から話題が広がりましたが、話の後半は「危」についてです。本県では今年4月から自転車に乗るときはヘルメットの着用が努力義務になりました。本校生の自転車事故は今年10件発生し、その内1件はやや大きな事故でしたがヘルメットをかぶっていたおかげで大事には至りませんでした。ヘルメット着用率が上がらないため、県ではヘルメットを購入した場合2,000円の補助を出す制度をこの春から設けるとのことです。そういった制度を利用して、ぜひ購入してほしいと思います。

そして、自転車の盗難件数については、県内では昨年に比べて4割近く増えており、被害の半数近くは高校生、全体の7割が無施錠とのこと。自転車窃盗は駅付近の自転車置場で発生することが多いと考えるかもしれませんが、実は一番多いのは自宅だそうです。なぜか？それは家に停めるときは鍵をかける人が多いからです。

空き巣というのは、玄関に鍵をかけていても窓ガラスを割ったりして入られることがあるわけですが、鍵をかけていながら入られたケースと、鍵をかけていないで入られたケースは、全国的には半々なのだそうです。しかし、山形では鍵をかけていなかったケースが多いと聞いたことがあります。皆さんの家でも、家の中に誰かいるときは鍵をかけないとか、そのまま夜もかけ忘れるといった家があるのではないかと思います。

コンビニではエンジンをかけたままの車をよく見かけます。自転車を降りて、財布だけ持って中に入る人がいたりもします。その際に鞆を盗まれ、尾行されて家の場所を特定され、あとで盗んだ鍵を使って侵入されるというケースがあると聞きます。本当に怖い話です。

山形のような犯罪の多くない地域ではなかなか防犯意識が育たず、都会に出ていったとき被害者になってしまうのではないかと心配します。実際、アパートやマンションの窓の鍵をかけずに物を盗まれたとか、夜中に入られて暴行されたといった事件が発生しています。

防犯というのは、文字通り犯罪を防ぐという意味ですが、自分が犯罪をおびき寄せる人間になっていないのかという視点も必要です。玄関や窓の鍵をかけるのも、自転車の鍵をかけるのも、盗まれないためだけでなく、犯罪が起こりにくい社会をつくるという大切な行為なのです。今日は税の話から始まりましたが、防犯意識を持つことで警察官の人件費やパトカーといった公的費用の抑制、つまり節税にもつながります。

そして世の中で最も大切なのは命です。自分の命を粗末にすることは、他者の命を粗末にすると何ら変わらず、やってはいけないことです。なぜならば、あなたの命はあなただけのものではないからです。では、命を大切にするというのはどういうことなのか。

雪道なのに自転車に乗っていないか、車に乗るとき後部座席でもシートベルトをしているか、そういったありふれた日常を省みて、本当に命を大切にしていると言えるか自問してみてください。事故や災害は突然やってくるものです。あらためて一人一人が事故防止と防犯意識の高揚に努めてください。

結びになりますが、年が明けるとすぐに大学入学共通テストを迎えます。受験する人はのんびり休むことができない年末年始になりますが、4月には新しい場所で満開の桜を見ることになります。楽しいことをイメージしながら、最後の正念場を乗り越えてください。

それでは、良いお年をお迎えください。

(令和5年12月22日 全校集会)